

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2015年10月4日(日)		天気	晴
山名	雲取山 697M(直方市)			
CL	高田	参加者	吉永(講師)・高藤(SL)・秋山・諫山(陽)・諫山(真)・大久保・坂本・徳永・林・渡辺(お試し)	

HP記載の有無:有

(コース)	<p>9:00~11:00講義<磁北線・距離の把握・チェックポイント・等高線・地形・プランニング・コンパスの使用方法(整地・山座同定・クロスベアリング法)・読図の重要性について> 11:20登山口...13:50 643M...雲取別れ14:15...15:15雲取山(山座同定) ...16:25下山口</p>			
(コメント)	<p>(吉永) 講師になるのが読図を覚える一番の近道です。</p> <p>(大久保) 読図の勉強会には以前2回参加しましたが、今回参加させていただいて基本的な事を再度確認しました。日頃、ルートが分かっている山はコンパスを携帯しているにも関わらず見ないので、常に使う事が大切だと思いました。</p> <p>(坂本) 決まった山道を昭文社の地図通りに歩く事が多く、きちんと地図を読んでいませんでしたが、これからは心がけて意識しながら地図と磁石を使って山に登りたいと思いました。 登山前のあずまやでの学習も磁北線を自分で書いたり山道はどれだけの時間で歩くかの目安など勉強になりました。 とても楽しい山でした。</p> <p>(諫山) 講習会では、迷いやすい地形、磁北線とは何か、迷ったという可能性を常に意識すること、また引き返す決断の大切さ、(人に聞くのではなく)ルートを自分で確認することの大切さなどについて学びました。 普段は歩く道に線が引かれ、所要時間もおよその勾配も、自分で考えなくても分かる地図に頼りきり。いざという時に自分で考え、生き延びる力を備えておくという意味でも、とても勉強になりました。</p> <p>(徳永) 読図山行は以前、県連の方で教えて頂きましたが何度も重ねて読図山行の勉強会に参加することで徐々に自分のものになるのだと思いました。雲取山をずっと鷹取山だと講師が言い間違えてた事をネタに、キツイ山道も皆で笑い飛ばしながら進めた読図山行。大変思い出深い山行となりました。</p> <p>(秋山) 今では大半の人がネットから地形図をダウンロードする時代になりましたが、内ヶ磯ダム傍らの東屋での講習がとても新鮮でしたし、今の人も基本は解った上でネット等を活用した方が良いと思いました。そして結果的に予定したコースを間違えたこともきわめて珍しいことではなく、特に里山は難しく「この本を読めば解る」とかそんな簡単なものではないことを改めて実感しました。地図読み山行には従来から初心者と思しき会員の参加が少ないのが気になってます。</p> <p>(高藤) 地図もコンパスも使いこなせない状態で読図山行があり大変感謝します。この勉強会を期にどこの山行でも地図とコンパスと高度計で山を楽しみたいと思います。今回藪漕ぎをして大変楽しかったです。 また機会があれば参加したいです。</p> <p>(林) 登山暦三十数年になるが、今までは、読図をしなくても整備された登山道のみしか登ってなく仮に、道に迷った時は振り出しに戻り、そこで目印になる物を探して先を行くとか、見透しの良い場所まで行って方向を見極め、目的場所に向かう事で良かったので、この年になって、藪漕ぎをするような登山は無いと思います。でも、講習会で知識を得た事は必ず、何らかの役に立つので、今回講習を受けなかった人達も是非とも、受けられるようにして下さい。 それにしても、後の雲取山登山はきつかったが、楽しく登りました。</p> <p>(高田) 今回吉永会長には事前の準備から当日の丁寧で分かりやすい講義まで何から何までお世話になりました。 参加者を代表して「有難うございました」。</p>			



費用概算(交通費)	1,100円/人(福岡市内より)			
-----------	------------------	--	--	--